

富津市創生会議 会議録 (要旨)

1 会議の名称	第1回「富津市創生会議」
2 開催日時	平成27年5月27日(水) 午後3時30分～午後5時30分
3 開催場所	富津市役所5階 503・504会議室
4 審議等事項	1 会長及び副会長の選出 2 会議録の確定について 3 富津市版総合戦略策定方針 4 富津市人口の現状
5 出席者名	富津市創生会議委員(15名) 浅野 隆、稲村 重夫、岩沢 宏幸、櫛田 直也、小泉 敏、 鈴木 裕士、関谷 昇、滝田 一馬、竹内 好美、武次 治幸、 中澤 道男、西田 美和子、早見 秀一、平野 都、森田 泰彰 事務局(9名) 市長 佐久間 清治、副市長 高橋 恭市、 総務部長 小泉 義行、総務部参事 池本 幸司、 企画課長 重城 祐、企画課企画係長 中山 淳子、 企画課主任主事 國吉 功二、企画課主任主事 赤井 聖、 企画課主事 牧野 圭吾 一般社団法人構想日本(外部政策シンクタンク)(2名) 伊藤 伸、原田 将大
6 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	2人(定員 20人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第1回「富津市創生会議」会議録（要旨）

発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 委員及び職員の紹介</p> <p>5 議題</p> <p>(1)会長及び副会長の選出 下記のとおり会員の互選により選出 会長 武次 治幸 副会長 岩沢 宏幸</p> <p>(2)会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用 第1回会議の署名人は下記のとおり 浅野 隆委員、稲村 重夫委員</p> <p>(3)富津市版総合戦略策定方針 資料1～4に基づき説明</p>
中澤委員	<p>各委員がこの会議に関する発言をツイッター、フェイスブック等のSNSを利用して発言することに何か制限があるか。</p>
事務局	<p>差し支えない。</p>
稲村委員	<p>創生会議とは別に仲間内で意見を募って、その意見を創生会議に上げていこうと考えているがよろしいか。</p>
事務局	<p>市では多くの意見を集めたいと考えているので、各委員が身の回りのコネクション等を使って情報収集していただくのは大歓迎である。</p>
滝田委員	<p>この会議の議論の結果が一つにまとまらない場合、最終的な決定はどのように行うのか。</p>
事務局	<p>この会議は、市長が戦略の策定にあたって市民の意見や助言を伺うと位置づけており、最終的に議論がまとまらないのは十分にあり得るものと想定している。具体的な課題や解決方法が示されるのが理想だが、そこまで至らなかったとしてもさまざまな意見を伺うこと自体に十分意義があるものと考えている。</p> <p>また、市職員の若手を中心にワーキンググループを組織し、そちらも</p>

浅野委員	<p>含めて素案を策定していく。</p> <p>富津市経営改革会議の中で、若手中心のプロジェクトチームを立ち上げるという話があったが、地方創生のワーキンググループと全く別の組織か。</p> <p>また、両組織の連携は今後されていくのか。</p>
事務局	<p>若手職員のワーキンググループについては、現在職員を募集している段階である。経営改革と戦略策定というのは表裏一体の関係にあると認識しているので、作業に参画する職員はできるだけ共通の方がよいと考えている。</p> <p>また、経営改革と戦略策定との連携という部分については、市民委員会の委員に経営改革の中で行う事業仕分けの判定人を兼ねてもらい、経営改革と戦略策定のプロセスの中で表裏一体のものとして連携させて進めたいと考えている。</p>
中澤委員	<p>市民委員会の委員の無作為抽出にあたり、市民の年代別比率などはどうなっているのか。若年層や年配層に偏ることはあるのか。</p>
事務局	<p>無作為抽出で選んだ場合、今までの一般的な傾向で言うと、年齢層の高い人の応募割合が高くなるため、無作為抽出とは言いながらも年齢層ごとに回答数が均等になるよう 2000 人を抽出する予定である。</p>
関谷委員	<p>人口ビジョンについて、仮に人口を増やすと考えた場合、どうやって増やしていくか、人口を増やすと言っても、若者を増やすのか、あるいはそれ以外の世代を増やすのかといったいろいろな視点があり、それぞれの視点に応じて戦略の立て方というのが変わってくると思うが、その辺を含めて人口分析に対する評価と具体的な戦略を立てるという流れでよろしいか。</p> <p>2点目に、この総合戦略の射程をどこまで考えるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政自身が地方創生に向けてどうするのかという視点。 ・民間企業、地域の団体との連携、いわゆる「協働」のまちづくりという視点。 ・地域がもっと自立的に、いわゆる「共助」をどれだけ膨らませていけるかという視点。 <p>仮にその三つの視点も含めるとした場合、具体性をどこまで持たせるのか。</p> <p>3点目に、総合戦略を基本計画に代替するものとし、それ以外の分野について分野別計画に委ねるとした場合、総合戦略については縦割的に作っていくのか、あるいは横断的なものとして作っていくのか。</p>
事務局	<p>1点目について、どういった人口推移、将来推計を富津市として目指</p>

	<p>していくのかということをもまず人口ビジョンで示し、その場合にどういった施策を講じていくべきなのかを考えるのが総合戦略である。</p> <p>正式に評価がまとまらなくてもある程度人口推計等のデータの的なものが出た時点でその都度この会議の中には示していきたい。</p> <p>2点目の総合戦略に行政がやるべきこと、それから共助といった部分まで盛り込めるかどうかということは、現時点では市として方針はまとまっていない。</p> <p>特に、共助という点については、共助の種になるような活動というのがどういったものがあるのか市でも把握しきれていない状況であり、この会議に各分野の第一線で活躍されている方々にお集まりいただいたのは、そういった部分の情報提供もお願いしたいという意味もある。</p> <p>この会議での議論を踏まえて、どこまで総合戦略に盛り込めるかという点について、策定主体である市の方で方向性を見極めていきたい。</p> <p>民間の事業、あるいは官民協働の領域をこの戦略に入れられるのかということについて、新しい手法として市民委員会を設定している。</p> <p>3点目については、部局横断的に作業を進めていきたいと考えているが、縦割りの的に感じられた際はこの会議の中で指導願いたい。</p>
平野委員	<p>アンケートの実施に際し、実際に出産・育児に関わる若い世代のお母さんたちの正直な気持ちが出てくるようなものにし、現在の課題が捉えられるようなものをお願いしたい。</p> <p>市民委員会等に意図して女性を入れていただきたい。</p>
櫛田委員	<p>市としてこういう取り組み方をするということが日本の過疎化を救う起爆剤になるぞと思ってもらえるような取り組みを富津市としてどう出せるかという戦略会議になると思う。</p> <p>次の会議までに、市としてどれくらいのところまで課題や要望に対して回答が準備できるような活動の余力があるのか。</p> <p>また、最終的に総合戦略がまとまった後、この創生会議があった意味は何だったのかというフィードバックはどのように市民に返ってくるのか。</p>
事務局	<p>スケジュール的には相当タイトであり、課題がどれだけ示せるかについては、今回の戦略策定における市の課題については、この創生会議の中でそれぞれの立場から課題や意見をいただくということを一つ考えている。その中で全く何もないところから議論いただくのは難しいと思うので、ある程度大きくくりの部分で基本目標となるようなたたき台を市から示していきたい。</p> <p>実質創生会議の議論の多くの部分が総合戦略に跳ね返る形になると現時点で想定しており、それぞれの段階に応じた議論の内容、進捗状況についても公表していくことで、戦略策定の中での創生会議の占める位置が大きいものであるということ公表過程の中で明らかにできる</p>

	<p>と考えている。</p> <p>計画見直しに関わる PDCA サイクルについても創生会議で議論いただきたいと考えている。</p>
事務局	<p>(4)富津市人口の現状 資料5、6に基づき説明</p>
鈴木委員	<p>若手職員のワーキンググループについて、何名ほどの規模で組織するのか。</p> <p>メンバーを募る際に何か工夫をしているのか。</p>
事務局	<p>メンバーは現在募集中であり、人数は10名程度を予定している。</p> <p>自薦を中心に他薦などでも募集している。</p>
西田委員	<p>戦略策定体制について、事務局を通してだけでなく、どこかでワーキンググループや事業仕分けや経営改革の関係者と直接意見交換するなど具体的な連携についてどのようにお考えか。</p> <p>会議の間に情報を集めておくのか、それとも会議の参集がないときにはそれぞれで情報をやりとりし合っって会議の場で決めるのか、具体的な作業の分担についてはどのようにお考えか。</p>
事務局	<p>会議の連携という点について、庁内のワーキンググループについては単に事務局機能というわけではなく、創生会議や市民委員会への同席を考えている。</p> <p>会議の進め方について、委員の皆様からいただく情報については会議日程にこだわらず、企画係に情報提供していただければ情報の共有を図る。</p>
小泉委員	<p>漁業の観光などへの結び付けが重要と考える。</p>
早見委員	<p>基本計画について、第1次から第3次までに挙げてきた項目が今回策定する総合戦略の中で網羅できないものがあつた場合、それは問題ないのか。</p>
事務局	<p>今回の総合戦略については、基本計画のように分野網羅的なものとは考えていないので、ある程度重点的に政策として講じられるものを戦略の中に盛り込むこととして考えている。</p> <p>基本計画に載っていたもので総合戦略には載らず、連続性という部分では欠ける部分が出てくることは想定しているが、富津市として実行可能な戦略というのをこの会議の力を借りて策定していきたいと考えている。</p> <p>基本計画については、財源の裏付けがない部分についても記載しなければならなかつたというような欠点があつたため、反省を踏まえ今回の策定方針を立てたところである。</p>

事務局	(5)その他 特になし 閉会
-----	--------------------------

以上